

標準 12 誘導心電図 (ECG : Electrocardiogram)

一般に「心電図」と呼ばれている検査です。

手足と胸部 6 か所に電極を装着し、心臓の電気興奮（動き）を記録します。

心拍数が極端に速い・遅い・脈の乱れ（不整脈）などの診断に有効です。心電図の波形から心臓が大きくなっていないか（肥大）、心臓の筋肉に障害が起こっていないか（心筋梗塞、狭心症、心筋症など）、心臓の中の電気の伝わりの異常（脚ブロック、房室ブロックなど）、また体内の電解質（ナトリウム、カリウム、カルシウム）異常等の推測も可能です。検診をはじめ、動悸や胸痛といった心臓の病気が疑われる場合、手術前の全身麻酔前検査など、心臓病のスクリーニング検査として一般的に行われている検査です。

検査方法

大きく胸と手足が出るようにしてベッドに寝ます。

手足と胸部 6 か所に電極を取り付け記録を行います。

体の力を抜いて楽にしてください。

2～3 分で記録は終了します。

きれいな記録をするために、息止めをお願いすることや電極を付けなおすことがあります。



検査時の注意点・お願い…

- ✚ 手足と大きく胸が出やすい服装でお越し下さい。
- ✚ 厚手のものや、静電気の出やすい服は脱いでいただきます。
- ✚ 時計や貴金属類は外す必要はありません。

検査時間

約 10 分